

### 内子小の余裕教室利用し 放課後児童クラブを開設

放課後子どもプラン推進事業

放課後児童クラブの開設が予定されている内子小学校校舎



町は、放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図るため21年度に「放課後子どもプラン推進事業検討会」を設置し、協議を進めてきました。  
この中で、21年度に保護者を対象に行ったアンケート調査から、「放課後に児童を預ける事業があれば利用したい」との意向が3年生以下の児童がいる保護者の半分近くあること、希望場所は学校の教室が65軒以上であ

ることなどが分かりました。  
そこで、内子小学校の余裕教室を利用し、同校区の1〜3年生を対象とした放課後児童クラブを24年4月から開設することとしました。  
同クラブは、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の遊びや生活の場を提供するものです。詳しい内容や利用の申込方法などは「広報うちこ」1月15日号でお知らせします。

### 長年にわたる功績認められ 町内2人が秋の叙勲を受章

地方自治功労・池田泰典さん  
消防功労・大野隆敏さん



◇地方自治功労「旭日双光章」

池田泰典さん(70歳) 中通り

23年秋の叙勲の受章者が11月3日付けで発表され、池田泰典さんは町長としての地方自治への功績が認められ、「旭日双光章」を受章しました。  
池田さんは平成2年の当選以来、3期12年にわたって小田町長に就任。国や県からの補助を活用し、国道の改良や保健センターの設置など、幅広

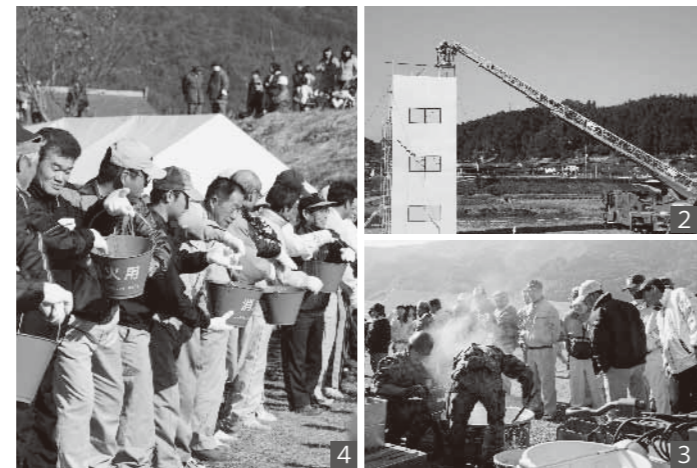
い分野の発展に力を注いできました。11年に完成した城の台公園と文化交流センタースバルの建設に当たっては、「作るならば中途半端なものではなく、本物」を作ることが大切」と、専門家と協議を重ね細部にまでこだわったといいます。  
「自分の信念や意志を持って、前向きに、真面

目に取り組むことができたと振り返る池田さん。「受章は大変名誉なこと、とてもうれしく思います。町民の皆さんのご理解・ご協力に感謝しています。今後は、あるがままに自分らしく生きたいと思っています。また若い人たちのこれからの活躍に期待しています」と話していました。

### ◇消防功労「瑞宝単光章」 大野隆敏さん(65歳) 内子17

大野隆敏さんは消防団員としての功績が認められ、「瑞宝単光章」を受章しました。  
昭和45年に内子町消防団へ入団して以降、37年間にわたって地域の安全・安心のために尽力してきた大野さん。平成11年から同団内子分団長を務め、17年に同団副団長に就任。「いざ」とい

きに消防団が機能するためには日頃の訓練が不可欠」と、自身の消防技術の向上や若手の育成に力を注ぎました。  
「受章できたのは周りの皆さんのおかげと、本当に感謝しています。すでに引退した身ですができる限りの支援をして地域に恩返ししたいと思います」と話していました。



1竹と毛布を使って簡易タンカを作り協力してけが人を搬送 2ビルの屋上に人が取り残された場合を想定し、40分のはしご車を使った救出訓練も行われた 3自衛隊による炊き出し訓練では、約20分で26\*□・約200人分の米を炊飯 4参加者約100人のバケツリレーによる初期消火訓練

### 大地震を想定し防災機関と 連携した大規模訓練を実施

内子町防災訓練

町は11月26日、今世紀前半にも発生恐れがある南海地震などの大災害に備えるため、町内全域を対象とした「23年度内子町防災訓練」を行いました。  
五十崎地区では、地域住民と防災関係機関の連携強化を目的に、自治会や消防団、消防署、警察、自衛隊など約800人が参加して大規模合同訓練を実施。震度6弱の地震が発生したと想定し、け

が人の救護や避難誘導、住民による初期消火や化学消防車を使った消火訓練、自衛隊による炊き出しと給食配給などの訓練を行いました。  
また町内の各地域で、30の自主防災組織や老人保健施設などの要援護者施設がそれぞれ訓練を実施。総勢1800人余りの参加があり、あらためて防災への意識を高めるとともに、災害時の対応を確認しました。